



## FS 「認知症克服に向けた脳のレジリエンスを支える リザーブ機能とその増強法の開発研究」

**伊佐 正 PM**  
(自然科学研究機構 生理学研究所・所長)

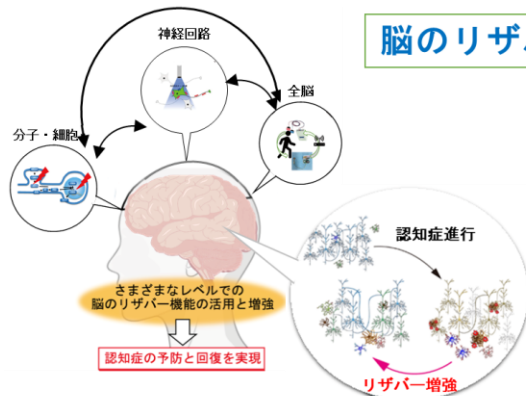
### 研究プロジェクト概要

認知症に対する対処法として、従来のアルツハイマー型認知症病理を防ぐ手法と共に、障害を免れた神経細胞の活性化・可塑性の誘導というリザーブ機能を促進し、認知機能を高める方法を開発します。  
これにより、100歳まで健康な脳を維持できる社会の実現を目指します。

100歳までレジリエンス\*の高い健康な脳を維持する社会の実現

\*レジリエンスとは困難をしなやかに乗り越え回復する力

脳のリザーブ機能の活用と増強による認知症の予防と治療



臨床応用に向けた実現可能な技術を提供

炎症制御・エネルギー代謝・細胞移植・代償回路等のリザーブ機能の増強法を開発

多階層（分子・細胞・回路・個体）でリザーブ機能を解明

コホートや臨床データから脳のレジリエンスを高める要素を見つける



### 2040年までに期待される ブレイクスルー

- 認知症の治療に有望なリザーブ機能を特定する。
- リザーブ機能増強法を開発する。
- 脳のリザーブ機能の活用と増強により、認知症の予防と回復を実現する。